

緑化だより

No.86 平成25年8月号



タマゴケ

- きのこの香り(5)
- 野鳥の世界(アカショウビン)
- 立秋の頃
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内



生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

きのこの香り

No.5 ニオイワチチタケ(匂輪乳茸)

4月から、特徴のある香りを持ったきのこをとりあげています。

5回目はニオイワチチタケです。カレーのような匂いを発散させます(加齢臭ではありませんので念のため)。

緑化センターでは、レストハウスの近くに発生する場所があるので、カレーを作っているのでは、と勘違いするほどです。

ニオイワチチタケはコナラ、シイなどのブナ科の林に夏～秋発生します。

傘の直径は2.5～4cmと小型で、褐色の濃淡のある環のような模様(環紋)があります。傷をつけると白味を帯びた水のような乳液が出ます。乳液は変色性がなく無味です。食毒不明とされています。

ニオイワチチタケに類似して傘に淡褐色の環紋があるきのことして、チョウジチチタケがあります。チョウジチチタケはカレーのような匂いはせず、湿っている時はほとんど匂いはしませんが、乾燥するとチョウジ(クローブ)に似た香りがします。食毒不明とされています。(川上)



ニオイワチチタケ

野鳥の世界

アカショウビン

カワセミの仲間です。本来、深い森林地帯に棲み、人の目にとまることはほとんどない、珍しい夏の野鳥です。

その名のとおり、クチバシの先から尾の先まで体全体が朱色の鳥です。

緑化センターでは昨年6月、センター池や管理事務所前付近で飛んでいるところが観察され、今年も5月6日に鳴き声を聞いたとの報告がありました。その声は特別のメロディーと響きを持つ

ているため、初めて聞く人にも強い印象を残します。「キョ・ロ・ロ・ロ」と尻下がりに鳴く声は遠くまで聞こえ、降雨の気配を感じさせます。そのため昔の人は、「雨乞い鳥」と名付けました。実際、夕立のくる前によく鳴き、森の情景を引き立てます。

センター内は、いくつもの谷が枝状に通じ、溪流に棲むサワガニ、カエル、トビケラなどを餌にしているようです。繁殖するには巣造りに適した落葉樹の大径木が必要です。キツツキの空巣でも大きき的にはよいのですが、その周辺が明るく、広く開きすぎないことなどが重要です。(吉見)



アカショウビン

立秋の頃

秋来ぬと目にはさやかに見えねども 風の音にぞ驚かれぬる 藤原敏行(古今集 三十六歌仙)

現代の暦で、8月8日が立秋に当たり、11月8日の立冬までを秋としています。

立秋を迎えると、朝夕の風に涼しさを感じます。

ナツツバキやタイサンボク、ネムノキなどの花々も盛りを終え、花の少ない季節に移りますが、この季節多くの植物は翌年の花の準備を始めます。

サクラは翌年の花芽を固めはじめ、11月にははっきりと花芽を認識させます。サツキやツツジの花芽が固まるのもこの頃です。

草本の花には、この時期に目立つものが多いのですが、鹿の影響で毎年影をひそめています。緑化センターでは、秋の七草(種)も自然のものを見ることできないため、講習会では実物を取り寄せます。しかし、ナンバンギセルやアケボノソウは毎年変わらぬ姿を見せてくれます。

木本ではキンモクセイやギンモクセイなどの花を見ることが出来ます。春から夏にかけて開いた花々は、イソノキ、ムラサキシキブ、カマツカ、タラヨウ、ウメモドキなど赤や紫の実が光ります。

嬉しいのは、葉色の変化で、黄・紅葉が始まるのがこの季節です。

バラ科サクラ亜科のサクラ類やナナカマドが早い紅葉を見せてくれ、マンサク科のトサミズキやヒュウガミズキ、モミジバフウ、フウが加わり、トウダイグサ科のナンキンハゼが仲間入りをします。ツツジ科のドウダンツツジやサツキ類も赤を主張します。メギ科のナンテン類も負けていません。

色を変える種類は20科を超えます。

秋は、春とはまた別の多彩な楽しみを与えてくれます。

県木の森の前にあるピラカンサは例年になくビッシリと実を付けていますし、管理事務所前にある、県下一のオオモミジも翼果の枝をたわわにしならせています。

彩を増す秋はすぐそこです。(正本)



ナンバンギセル



アケボノソウ



イソノキ

研修会のご案内

- 8月3日(土) 『ボタニカルアート教室』 10:00～12:00 学習室 集合
植物を描くコツを学びましょう
講師:広島ボタニカルアート・ソサイエティ
※鉛筆、色鉛筆、消しゴム持参 会 員
- 8月4日(日) 『夏休みどんぐりと小枝の工作教室』 10:00～12:00 学習室 集合
親子で夏休みの思い出作りをしましょう
講師:木楽工房造形作家
※ 要予約(先着30名) 材料費300円 隅田 五雄
- 8月11日(日) 『秋の七草と野草』 10:00～12:00 学習室 集合
秋の七草の歴史と薬効について
講師:緑化センター職員
正本 良忠
- 8月18日(日) 『夏休み木工教室』 10:00～12:00 学習室 集合
風見鶏を作ります
講師:もみじの会 岡部 茂
※ 要予約(先着20名) 材料費500円
- 8月25日(日) 『デジカメ中級講座』 10:00～12:00 学習室 集合
デジタルデータの処理・加工について学びます
講師:写真家 大藤 哲己
※ デジタルカメラ持参

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 展示会のお知らせ

展示場所:レストハウス
(ガラスケース)

爪楊枝で作ったお城や塔の作品展

8月7日(水)～9月8日(日)

きのこの常設展示 (常設)

(ボード展示)

H.17年～H.24年度

写真コンクール入選作品展示

8月4日(日)～8月31日(土)



爪楊枝で作ったお城や塔の作品展

クールシェア実施

7/23(火)～9/20(金) 平日13:00～16:00

涼しい緑化センターでスタンプを集めて下さい。
レストハウスに置いてます

8月の土・日・祝日は午後5時まで開園。

表紙: タマゴケ タマゴケ科

半日陰の湿った所、岩上に塊状の群落を作る。
雌雄同株、朔は球形。